

朝日地域まちづくり総合戦略

重点目標

みんなで支え合い安心して住めるまちづくり

1. 地域の支え合いのしくみづくりの推進
2. 安心して暮らせるための見守りネットワークの推進
3. 健康づくりの推進



朝日地域の概要

朝日地区は明治初期までは水田や沼地の広がるのどかな地域であった。明治41年に鉄道が開通したことにより、多くの人が集まるようになり、商業地、住宅地として地域は大きく様変わりした。また、東西には国道9号線、南北にはくにびき道路が通り、交通の要となっている。現在は百貨店や大型店舗、金融機関などが集まっており、松江市の都市機能の中核として、経済と市民文化を先進する町となっている。

朝日地域の現状と課題

- ①朝日公民館は第三中学校との複合施設としての環境を生かし、学社連携・融合のあるべき姿を探り、さらに、幼稚園、小学校を中心とする活動を推進するため、白潟公民館との連携強化を図っている。
- ②小・中学校の特別支援教育の支援体制が充実している。
- ③地区の中では、なごやか寄り合い・ミニデイ事業を中心としたまちづくりに成果が出ている地区が多くなりつつある。一方で集会所がなく実現していない地区もある。
- ④マンション等が多く、入居者は比較的若年層が多いためか、高齢化率は他地区に比して低い。一方、居住年数の長い世帯は高齢者が多いこともあってか活力に乏しく、マンション等世帯の町内会・自治会への加入率が低いこととあいまって、地域全体の盛り上がり欠ける面がある。
- ⑤市街地に位置しているため、利便性がよく生活しやすいことから、地域に頼らなくてもよいという考え方の影響もあり、相互の協力・団結力の弱さが見受けられる。

将来に向けた取り組み

1. 地域の支え合いのしくみづくりの推進

- ①防災を軸とした町内会・自治会（以下町内会という）活動の推進
- ②福祉を軸とした町内会の推進
- ③ふれあいを軸とした地域活動の推進

3. 健康づくりの増進

- ①学習・話し合いの場づくり
- ②健康活動の場づくり

2. 安心して暮らせるための見守りネットワークの推進

- ①あさひ安心ネット推進事業
- ②福祉の心を育てる教育活動への助成等
- ③障がい者（児）の地域交流事業の推進
- ④高齢者見守りネットワークの充実
- ⑤介護に関すること
- ⑥地域包括支援センターとの連携

具体的な取り組み内容

- ・『タベのつどい』
地元のスナックなど地域のあらゆる資源を活用し、地域住民が集まれる場所を増やしていく
- ・『街灯探索会』
地区内の街灯設置場所を調査し、地区の今後の防犯対策に活かす
- ・『異世代コミュニケーション事業』
既存の各種団体間でコラボレーション・交流事業を行い、世代間のつながりのきっかけにする